

令和元年度第3回市川警察署協議会

1 開催日

令和元年12月5日（木曜日）

2 開催場所

市川警察署 大会議室

3 出席者

・協議会委員 10人 ・警察署 16人

4 議題

(1) 警察署協議会代表者会議結果（会長）

(2) 犯罪発生状況

ア 刑法犯認知件数

イ 罪種別内訳

ウ 電話de詐欺発生分布

(3) 交通事故発生状況

ア 交通事故発生状況

イ 交通人身事故の主な特徴

ウ 飲酒運転の状況

エ 今後の課題

(4) 駐車監視員活動ガイドライン

(5) 「強い警察」重点取組施策

5 委員からの意見・要望等

(1) 自転車の片手運転について（第2回補足説明）

【質問】 片腕が不自由な方が自転車を運転することも片手運転に該当するのか、又は何らかの特例措置があるのか。

【回答】 千葉県道路交通法施行細則第9条第11号には、運転者の遵守事項として「傘を差し、手に物を持ち、物をおかつぐなど、視野を妨げ、又は安定を失うおそれのある方法で車両を運転しないこと。」と規定されていますが、これは、障害をお持ちの方の自転車運転を阻害するものではありません。障害をお持ちの方が自転車に乗られる場合は、ブレーキやハンドルの操作を始め、他に被害を及ぼさないようそれぞれの障害に応じた安全対策を講じるようお願いします。

(2) 児童の安全について

【質問】 児童の登下校時における防犯対策の現況は。

【回答】 平成29年に松戸市で発生した女児殺害事件以降、警察では、学校関係者、保護者、地域住民などと連携して、子供の見守り活動を一層強化してきました。

当署でも

- 登下校時間帯における通学路、公園や商店など子供が集まる場所に対する警戒活動の強化

- 不審者に対する積極的な職務質問
- 犯罪の前兆事案である子供に対するつきまといや声掛けなどの行為者の早期特定と検挙・警告・指導措置
- 各校からの見守り活動に係る要請を受けた際の、生活安全課への報告及び連携対応

などにより、児童の安全確保に努めています。

また、学校関係者や保護者、地域住民などの関係団体で構成する様々な会議の開催に当たっては、当署の担当者が出席し、子供の安全に係る情報を提供し、共有を図っています。

最後に、子供の安全のために、凶悪事件の発生などを早急に伝達しなければならない場合については、市川市や市川市少年センターを通じての緊急連絡回線を構築しています。

(3) 防犯カメラについて

【質問】 市川市内では、駅前や商店街には防犯カメラが多数設置されているが、住宅地ではあまり見掛けない。

防犯カメラには犯罪抑止効果があると思うが、設置に係る課題と今後の展望は。

【回答】 県警が管理する防犯カメラの運用開始は平成30年12月で、現在は千葉駅、船橋駅、西船橋駅、松戸駅及び柏駅の各駅周辺に計50台が設置されています。設置場所を管轄する4署全体の刑法犯認知件数は、設置前に比べ約10.5パーセント減少しているとのこと。このことから、防犯カメラには、犯罪抑止に相当な効果があると考えられます。

当署管内でも、市川駅及び本八幡駅の周辺にそれぞれ10台が設置される予定となっており、令和2年7月の運用開始に向け準備を進めています。

【質問】 防犯カメラが手薄である、更に増設したいといった現状は。

【回答】 県警管理の防犯カメラの設置予定場所が市川駅及び本八幡駅の周辺に決まったのは、犯罪発生状況の分析結果によるものです。設置箇所は、市川市や民間企業が設置済みの防犯カメラの設置状況を分析し、死角となっている場所や犯罪発生状況を勘案して検討しています。

なお、市川市による防犯カメラ設置に当たっては、検討段階で設置箇所及び設置効果につき意見照会を受けるため、警察では犯罪発生状況の分析結果等を踏まえて助言しています。

(4) 防犯ボックスについて

【質問】 先日設置のニュースが流れた防犯ボックスは警察が管理しているのか。また、今後の増設計画は。

【回答】 防犯ボックスは現在、市内2箇所に設置されています。

運営主体は市川市ですが、業務を進める上で当然に協力関係にあり、防犯に係る情報や犯罪発生状況の交換などを行っています。

なお、現在のところ増設計画は聞いていません。

(5) 交通安全について

【質問】 交差点における交通事故防止対策は。

【回答】 交差点及び周辺における交通事故の発生割合は、全体の約60パーセントを占めています。

交差点では、信号機や一時停止標識の設置による道路規制や、道路管理者と協力・連携しての道路環境の改善整備を行っています。

また、事故類型につき、見通しのきかない交差点での出会い頭の事故が非常に多いという統計結果が出ています。交差点における交通違反は、重大な事故に発展する可能性が極めて高いものですから、一時停止や信号無視といった違反の取締りを強化し、交差点の安全な通行の促進を図っています。

【質問】 自転車通学者等の交通マナー向上策は。

【回答】 自転車利用者が関係する交通事故の割合につき、当署は他署に比べ比率が高くなっています。

自転車利用者の安全運転意識を向上させ、交通事故発生を抑止するためにも、県や市と連携し、

- 自転車に乗り始める小学生
- 自転車通学を始める中学生
- 自転車利用での行動が広範囲になる高校生

を対象とする交通安全教室を、各学校を訪問し開催しています。

同教室では、自転車の日常点検、安全な乗り方、自転車での交通違反、自転車運転に潜む危険などについて、DVDを活用して指導します。

市川高校、東国分中学校、下貝塚中学校及び第五中学校では特に、スタントマンによる事故の再現を実施しました。

国分高校では、自転車マナーアップ隊と連携し、自転車通学の生徒に対する自転車マナー指導を行いました。

また、自転車通勤の方もいるから、企業に対する安全講話の際に自転車の走行方法やマナーについても指導しています。

主婦や高齢者に対しても、交通課と地域課の移動交番係とで連携し、反射材の配布や出張型の交通安全・防犯指導を行っています。

最近では、いちかわ市民まつりにおいて、自転車シミュレーターブースを設け、自転車の安全運転について広く市民に体験していただきました。今後も自転車の安全な利用を促進するため、様々な機会を通じて自転車マナーの向上に努めます。

(6) 災害警備について

【質問】 大型台風襲来時における災害警備対策や応援の状況は。

【回答】 今年は、台風により県内各所で大きな被害が発生しました。当署管内でも、家屋の損壊、冠水、倒木などの被害が発生しましたが、幸いなことに死者や行方不明者はありませんでした。

大型台風襲来が予想される場合の災害警備対策には、体制の確立、情報収集、装備資機材の活用、救出・救助活動などが挙げられます。

まず、体制の確立ですが、予想される台風の規模に応じて、体制が薄くなる休日や夜間などにおける署員の事前招集を個別に検討します。

次に、情報収集です。被災情報は、いち早く収集することが極めて重要であり、警察に寄せられるものだけでなく、119番通報や河川氾濫情報など、他機関からの情報も非常に有効であると考えています。

装備資機材の活用については、強風によりオートバイでの活動が困難となることが予想されたことから、事前に車両を各交番に配分するとともに、胴長、ヘルメット、スコップなどの災害用資機材を準備しました。

続いて、応援の状況について説明します。

応援派遣は、各署の被災状況に応じ、県警本部で派遣が検討されます。当署は今回、管内で大規模な被害がなかったことから応援は受けておらず、反対に地域課移動交番係等を県内被災地に応援派遣しました。

(7) 電話受付体制について

【意見】 市川署に電話してもなかなか繋がらないことがある。

不安を抱いて相談の電話をする市民に寄り添う意味でも、また事件を未然に防ぐ意味でも、課題を感じる。

110番や相談ダイヤルなどの別の手段はあると思うが、担当部署でなくともとりあえず電話が繋がる市川署であってほしい。

【説明】 当署の加入回線に架電されると、まず電話交換手が受話します。当署では現在、電話交換手は各課の職員が交代で当たっています。

電話交換手は通話内容を聞き取り担当課に引き継ぎますが、それまでの間は他の電話を受けることができません。これがなかなか繋がらないという状況が生まれる原因ですので、少しでも早く担当課に通話を引き継げるよう、聞き取りの効率化に努めます。

なお、混雑状況を知らせるガイダンス導入の可否につき、本部に問い合わせています。

(8) 1日警察署長について

【質問】 一日警察署長の選考基準は。

【回答】 警察では、防犯や交通安全を呼び掛ける上で、市民の認知度が高い方に一日警察署長を依頼しています。

明確に規定された選考基準はありませんが、

- 一日警察署長として真にご協力いただける方
- 地域や職域において信頼されている方
- 事件や事故のない街にしたい、という気持ちを共有していただいている方

をお願いしています。

当署では、市川市出身の芸能関係者や、犯罪抑止に貢献のある市内の金融機関、学校等に勤務されている方に依頼しています。